

ピカソ、マティス、シャガール、ミロ……

Atelier Mourlot

et la lithographie du XXème siècle

ムルロ工房と20世紀の巨匠たちーパリが愛したリトグラフ

2015年
5月24日(日)→7月20日(月・祝)

開館時間=午前9時30分-午後5時(入館は午後4時30分まで) 休館日=月曜日(ただし7月20日は開館)
観覧料=一般1000円(900円)/20歳未満・学生850円(750円)/65歳以上500円、高校生100円
*()内は20名以上の団体料金です。*中学生以下、障害者手帳をお持ちの方は無料です。その他の割引につきましてはお問い合わせください。
*ファミリー・コミュニケーションの日・毎月第一日曜日(今回は6月7日、7月5日)は、18歳未満のお子様連れのご家族は優待料金(65歳以上の方を除く)でご観覧いただけます。

●会期中、一部作品の展示替を行います。前期5月24日-6月21日 | 後期6月23日-7月20日

主催=神奈川県立近代美術館、読売新聞社、美術館連絡協議会
特別協力=うらわ美術館

協賛=ライオン、清水建設、大日本印刷、損保ジャパン日本興亜、日本テレビ放送網
後援=在日フランス大使館/アンスティチュ・フランセ日本

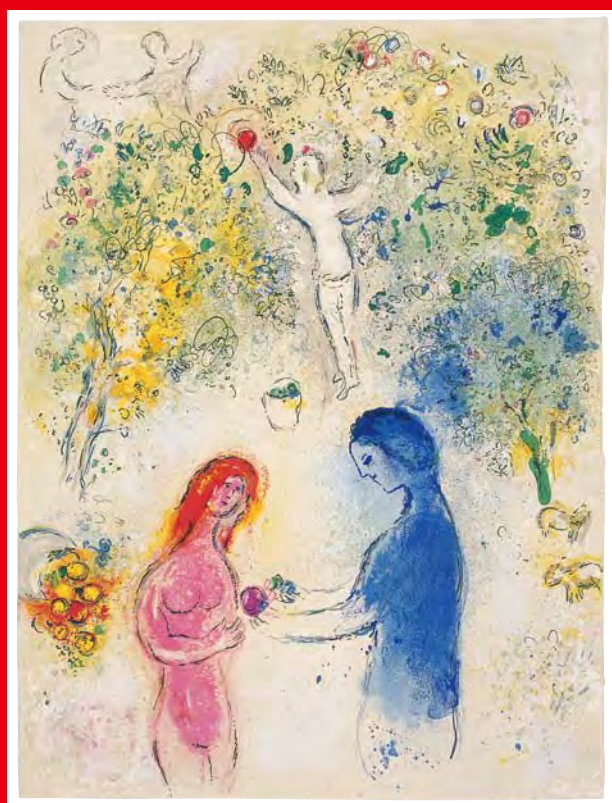


神奈川県立近代美術館 葉山
The Museum of Modern Art, Hayama

〒240-0111 神奈川県三浦郡葉山町一色2208-1 Tel.046-875-2800
2208-1 Isshiki, Hayama, Kanagawa 240-0111 <http://www.moma.pref.kanagawa.jp>



神奈川県立近代美術館



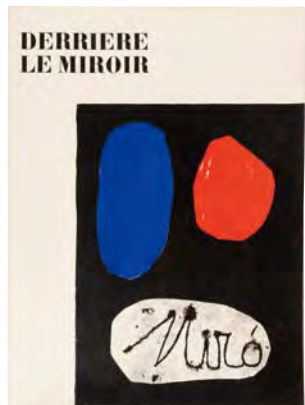
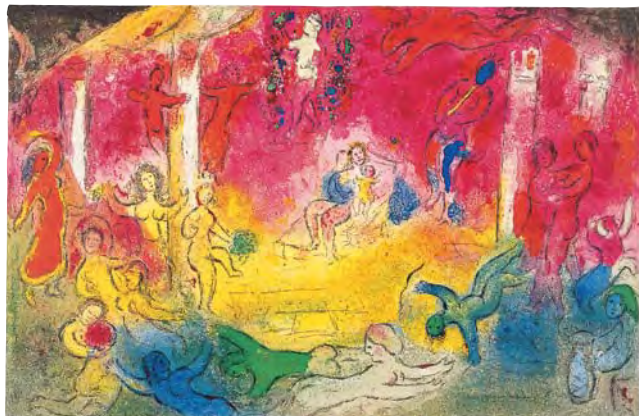
マルク・シャガール(原) (ロンゴス「タフニスとクロエ」)1961年刊、M.308、神奈川県立近代美術館(望月富助コレクション)
©ADAGR, Paris & JASPAR, Tokyo, 2015, Chagall® E1556

18世紀にドイツで発明されたリトグラフ(石版画)は、写真以前のイメージ伝達手段として19世紀のフランスで報道・出版・広告印刷に重用された技術でしたが、20世紀のパリで芸術的表現として大きく花開きました。

1921年のパリ。フェルナン・ムルロは兄ジョルジュとともに父から受け継いだ印刷所をムルロ兄弟社と改名し、版画工房として活動をはじめます。1930年に工房が手がけたドラクロワ回顧展(ルーヴル美術館)のポスターを機に、その高い芸術性が認められ、マティスやデュビュッフェ、さらに戦後はピカソやシャガールがムルロの工房でいくつもの傑作を制作しました。画家(アーティスト)と職人(アルティザン)の協同作業が版画芸術に隆盛をもたらした20世紀パリのリトグラフ、それを支えたのがフェルナン・ムルロ率いるムルロ工房だったのです。

ムルロ工房が手がけた版画・芸術雑誌・ポスターなどのオリジナル作品約300点にリトグラフ制作に用いられる道具、プレス、さらに映像資料を加え、今なお可能性と魅力にあふれるリトグラフの豊かな世界を紹介します。

ムルロ工房と20世紀の巨匠たちーパリが愛したリトグラフ



1—マルク・シャガール《バックス神の物語と神殿》(ロンゴス「ダフニスとクロエ」35)1961年刊、M.346、神奈川県立近代美術館(望月富房コレクション)
©ADAGP, Paris & JASPAR, Tokyo, 2015, Chagall® E1556

2—パブロ・ピカソ《肘掛け椅子の女 No.1(赤の版による)》1949年、M.134、横浜美術館[前期展示] ©2015-Succession Pablo Picasso-SPDA (JAPAN)

3—ジョアン・ミロ《デリエール・ミロワール》第57-58-59号表紙、1953年刊、神奈川県立近代美術館(山口蓬春文庫)
© Successió Miró-Adagp, Paris & JASPAR, Tokyo, 2015 E1556

4—フェルナン・レジェ「サーカス」(pp.84-85)、1950年刊、町田市立国際版画美術館

5—ピエール・ボナール《ヴェルヴ》第1巻第3号表紙、1938年夏、神奈川県立近代美術館(山口蓬春文庫)

6—ジョルジュ・ブラック「ブラック版画作品展(1953年)」ポスター(「ムルロ工房制作 展覧会ポスターアルバム」第1集)、1955年刊、
サントリーポスターコレクション(大阪新美術館建設準備室寄託)

Atelier Murlot et la lithographie du XXème siècle

関連企画

学芸員によるギャラリー・トーク

5月30日(土)、7月4日(土) 午後2時~3時

参加無料(本展の観覧券が必要です)

詳細やその他の企画につきましては当館ホームページをご覧ください。

同時開催

神奈川県立近代美術館 鎌倉+鎌倉別館

鎌倉からはじまった。1951-2016

「PART 1:1985-2016 近代美術館のこれから」

—6月21日(日)

「PART 2:1966-1984 発信する近代美術館」

7月4日(土)—10月4日(日)

第一会場: 鎌倉館 Tel.0467-22-5000

第二会場: 鎌倉別館 Tel.0467-22-7718

優待のご案内

「ムルロ工房と20世紀の巨匠たち」展の有料観覧券(65歳以上券、高校生券を除く)の半券を提示されると、同展会期中に限り、下記の施設に優待料金でご入場いただけます。

神奈川県立近代美術館 鎌倉 Tel. 0467-22-5000

葉山しおさい公園 Tel. 046-876-1140

山口蓬春記念館 Tel. 046-875-6094

●交通案内

公共交通機関: JR横須賀線「逗子」駅前(3番のりば)、または京浜急行「新逗子」駅前(南口2番のりば)から京浜急行バス「海岸回り(逗11、12系統)」で「三ヶ丘(さんがおか)・神奈川県立近代美術館前」で下車(所要約15分)。

車: 横浜横須賀道路逗子インターチェンジ、または横須賀インターチェンジからそれぞれ7~8km。

葉山館駐車場(有料)のご案内

営業時間: 午前8時30分—午後6時(入庫は午後4時30分まで)

駐車料金(1時間/追加は30分毎に精算)

	普通車	バス
5・6月	400円	1,200円
7月(平日/土日祝)	600円/1,000円	1,800円

*観覧券をお持ちの方は1時間(7月は1時間半)無料となります。

*レストランやショップで2,000円以上ご利用頂いた方は1時間無料となります。〔観覧券と併用で最大2時間(7月は2時間半)無料〕

*貸切バス等(定員11名以上)でご来館の場合、駐車場の予約および前面道路の通行許可申請が15日前までに必要です。団体名、連絡先、来館日時、台数をご連絡ください。

Tel. 046-875-2800



神奈川県立近代美術館の最新情報は、
ホームページでもご覧いただけます。
<http://www.moma.pref.kanagawa.jp>



神奈川県立近代美術館 葉山 The Museum of Modern Art, Hayama

〒240-0111 神奈川県三浦郡葉山町一色2208-1
Tel.046-875-2800